

平成 23 年 11 月 7 日

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ
株式会社三菱東京 UFJ 銀行
公益社団法人日本ユネスコ協会連盟

「MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金」奨学金の給付状況について

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ(取締役社長 永易 克典^{ながやす かつのり}、以下 MUFG)、株式会社三菱東京 UFJ 銀行(頭取 永易 克典^{ながやす かつのり})および公益社団法人日本ユネスコ協会連盟(会長 松田 昌士^{まつだ まさたけ})が、平成 23 年 4 月 28 日付『「MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金」の創設について』で公表いたしました奨学金プログラムについて、平成 23 年度の応募者の確認手続きが完了し、奨学金給付対象者が 1,235 名で確定いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

なお、現在の奨学金給付状況と今後の応募見込み等を踏まえ、最終的な本基金の規模は約 30 億円となる見通しで、三菱東京 UFJ 銀行は拠出額を、これまでの 10 億円から 20 億円に増額することといたします。MUFGグループ各社の役職員からの寄付およびMUFG株主優待制度への寄付金プログラム導入等で見込まれる約 10 億円と併せ、本基金の運営を図ってまいります。

また、東日本大震災により遺児・孤児となった平成 24 年から平成 26 年の各 4 月に小学校入学予定の未就学児童につきましては、当該年の各 2 月に募集を開始する予定です。

1. 奨学金プログラムの給付対象奨学生数(平成 23 年度)

【県別】

岩手県	450
宮城県	673
福島県	80
その他	32
合計	1,235

【学年別】

	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	合計
小学生	62	73	82	89	92	103	501
中学生	123	110	122	—	—	—	355
高校生	128	133	118	—	—	—	379
合計	—	—	—	—	—	—	1,235

2. 奨学金プログラムの給付額

- (1)開始時に一時金として 10 万円を給付し、小学校・中学校・高等学校在学期間中に月額 2 万円(年間 24 万円)を給付いたします。
- (2)本奨学金は返還する必要はありません。

今後も、MUFG、三菱東京 UFJ 銀行および日本ユネスコ協会連盟は、被災地の支援に継続的に取り組んでまいります。

以上

【ご参考】

「MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金」各種プログラムの活動について

1. 心豊かな成長プログラム

(1) 応援交流会

「劇団四季」のご協力を得て、同劇団が開催した東北特別招待公演の観劇を柱とした応援交流会を開催しました。宮城県・福島県の奨学生を招待し、三菱東京 UFJ 銀行の役職員ボランティアが、奨学生と直接コミュニケーションを図りました。今後、岩手県の奨学生を対象に応援交流会の開催を予定しています。



(応援交流会:「劇団四季」による東北特別招待公演を観劇した時の模様)

(2) 震災復興研修会

被災地の教職員を対象に「震災後の教育活動における子ども向け心のケア」研修を、平成 23 年 8 月に仙台市内で開催しました。当日はユネスコスクールの教職員約 50 名が参加しました。



(震災復興研修会:心のケアをテーマとした研修会当日の様子)

2. 学校花壇再生プログラム

平成 23 年 10 月までに岩手県・宮城県・福島県で計 5 回「学校花壇再生プログラム」を実施し、MUFG グループ各社の役職員約 200 名がボランティアとして参加しました。また、花苗の寄贈を 30 校に対して実施し、合計約 10,000 株の花苗を被災地の小中学校に届けました。今後も継続的に実施します。



(花壇再生ボランティア:塩害に晒された土の掻きだし、花苗の植え付け、校長先生からのお話し)